

令和5年度第3回士別市社会教育委員の会議議案

□と き 令和6年2月22日（木）15時10分

□ところ 士別市役所 3階 委員会室

1 開 会

2 挨拶

3 報告事項

（1）生涯学習情報センターの運営状況について

（2）令和6年度社会教育関係予算について

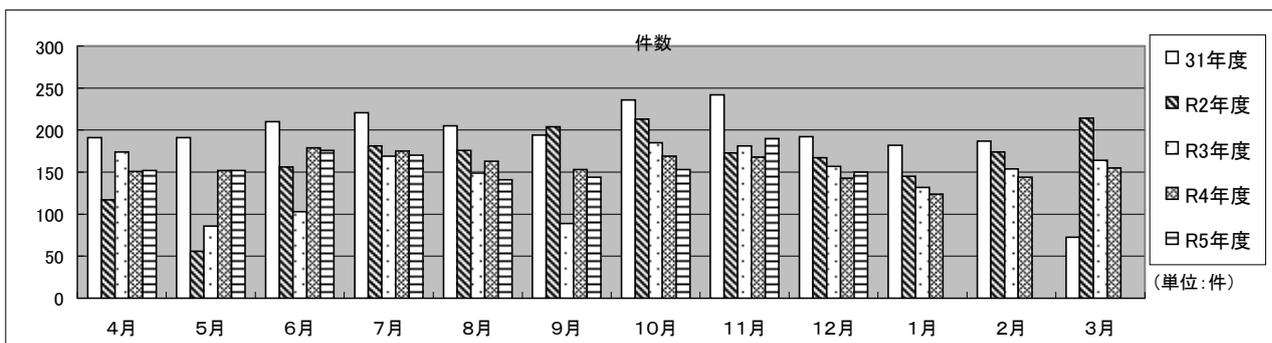
4 協議・研究活動

（1）委員交流（テーマ「次年度方針と参加者アンケートから」）
…グループに分かれて、テーマに関する交流を行う。

利用件数

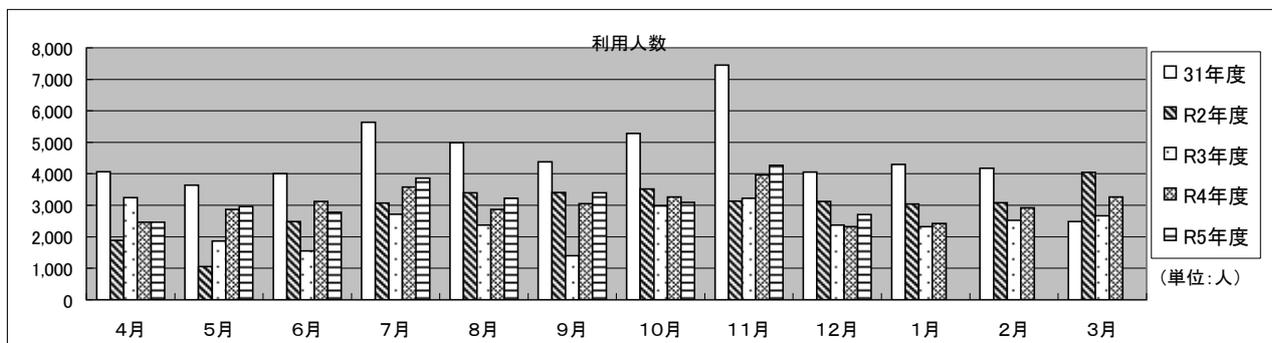
(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
31年度	191	191	210	221	205	194	236	242	192	182	187	73	2,324
R2年度	117	56	156	181	176	204	213	173	167	145	174	214	1,976
R3年度	174	86	103	169	149	89	185	181	157	132	154	164	1,743
R4年度	151	152	179	175	163	153	169	168	143	124	144	155	1,876
R5年度	152	152	176	170	141	144	153	190	150	0	0	0	1,428



利用人数

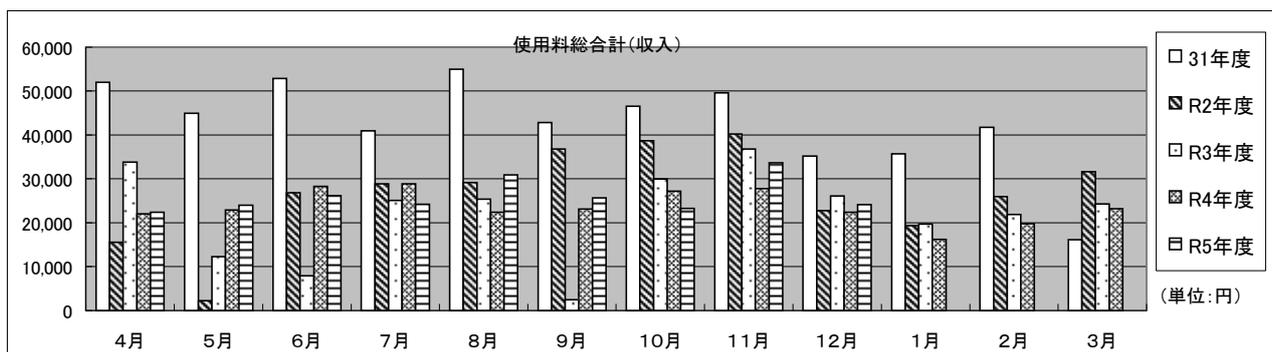
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
31年度	4,058	3,636	3,995	5,630	4,991	4,374	5,279	7,454	4,051	4,293	4,173	2,481	54,415
R2年度	1,885	1,055	2,478	3,072	3,390	3,398	3,514	3,135	3,122	3,040	3,080	4,040	35,209
R3年度	3,237	1,869	1,540	2,712	2,361	1,392	2,984	3,219	2,366	2,319	2,525	2,658	29,182
R4年度	2,463	2,865	3,127	3,581	2,861	3,056	3,268	3,962	2,319	2,420	2,915	3,270	36,107
R5年度	2,467	2,951	2,774	3,861	3,220	3,388	3,091	4,266	2,701	0	0	0	28,719



使用料総合計(収入)

(単位:円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
31年度	51,975	44,915	52,845	40,895	54,965	42,825	46,520	49,610	35,210	35,695	41,705	16,135	513,295
R2年度	15,550	2,265	26,830	28,875	29,145	36,800	38,645	40,190	22,735	19,330	25,915	31,630	317,910
R3年度	33,775	12,225	7,910	25,045	25,320	2,450	29,945	36,775	26,135	19,655	21,915	24,295	265,445
R4年度	22,040	22,930	28,295	28,870	22,420	23,085	27,150	27,770	22,365	16,215	19,800	23,185	284,125
R5年度	22,340	23,985	26,180	24,220	30,900	25,645	23,265	33,680	24,150	0	0	0	234,365



※平成22年度より「利用件数」及び「利用人数」には図書館入館者が含まれている。

令和 6 年度
社会教育関係予算
資料

社会教育事業 報告・計画

					令和5年度		令和6年度 計画	
番号	事業名	担当	事業内容	対象	予算 (千円)	実績	予算 (千円)	令和6年度の変更点
1. 学校教育								
(2) 組織力と連携の強化のもとでの学校教育の推進 (教育委員会全課)								
1	社会教育関係職員研修	社会教育課	社会教育関係職員が、事業計画や市民ニーズの重要性を学ぶ研修を行い、実務力向上を図る。	社会教育関係職員	20	3回実施 「社会教育事業の意義とは」、「事業目標の整理」、「社会教育事業の関係性整理」	20	
(3) 地域資源を活かし郷土愛を育む教育の実践 (学校教育課・社会教育課・給食センター)								
1	士別市小学生みよし市派遣交流事業	学校教育課 社会教育課	友好都市のみよし市へ小学6年生を派遣	小学6年生	1,480	令和6年1月9日～12日 市内小学6年生16名 派遣	1,559	
(4) 外部人材や企業の協力による体験的学びの提供 (学校教育課・スポーツ推進課)								
1	オリンピック教室	合宿の里・スポーツ推進課	オリンピックムーブメント推進の一つとして、市内中学生に「オリビズム」や「オリビックバリュー」について学習する機会を提供し、学校生活や日常生活など、今後の成長に生かしてもらおう。	市内中学生	251	オリンピック3名を講師に実施 対象：士別中学校2年生、士別南中学校2年生	229	—
(5) 中学校部活動のあり方の検討 (学校教育課、社会教育課、スポーツ推進課)								
1	地域部活動	学校教育課 社会教育課 合宿の里・スポーツ推進課	「士別市地域スポーツ・文化活動検討協議会」の設立と推進体制の確立		440	準備会の開催	-	
2. 社会教育								
(1) 子ども達のキャリア教育と豊かな体験活動の推進 (社会教育課・公民館・博物館・図書館)								
1	士別ふるさと体験広場 職業体験コース	社会教育課	地域の特色を活かして、市内企業の協力による職業体験の機会を提供し、児童のふるさとへの郷土愛を育む。	小学4～6年生	103	塗装業・販売業・郵便局・農業・図書館司書・製菓店の体験活動を実施。 延べ75名参加	78	
2	士別ふるさと体験広場 文化体験コース	中央公民館	地域の特色を活かして、社会教育団体の協力による普段は経験できない文化体験の機会を提供し、児童のふるさとへの郷土愛を育む。	小学4～6年生	130	羊毛クラフト・茶道・油絵・吹奏楽・囲碁の体験活動を実施 延べ60名参加	128	
3	士別ふるさと体験広場 自然歴史体験コース	博物館	地域の特色を活かして、市内の自然や歴史を肌で感じる自然歴史体験の機会を提供し、児童のふるさとへの郷土愛を育む。	小学4～6年生	136	自然散策と木の名札づくり・火起こし・昆虫採取・勾玉づくり・雪と氷の実験の体験活動を実施。 延べ123名参加	152	歴史部門については「米づくり体験」(田植え～収穫)を実施予定。

社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	令和5年度		令和6年度 計画	
					予算 (千円)	実績	予算 (千円)	令和6年度の変更点
4	チャレンジ寺子屋	社会教育課	長期休業中の望ましい学習・運動習慣定着を目的とした学習・体験活動を提供する。 高校生が主体的に参画できるような事業作りを推進する。	小学3～6年生 翔雲高校生徒	108	夏：4日間で延べ85名参加 交流ゲーム、ニュースポーツ（キンボール）、川遊び（みよし市からの派遣児童と）、翔雲高校企画ゲーム 冬：3日間で延べ90名参加 ポッチャ、イングリッシュゲーム、翔雲高校企画ゲーム	123	文化センター～翔雲高校間のマイクロバス燃料費を計上
5	子ども会リーダー養成講習会	中央公民館	士別市子ども会連絡協議会との共催。リーダーとして必要な基礎知識や技術の向上、さらには野外活動での体験学習を実施することにより、多くの経験と活動の幅を広げ、地域子ども会の活性化を図る。実施にあたっては、1市2町合同ジュニアリーダー研修会の参加をもって、講習会とする。	小学5・6年生	5	1市2町合同ジュニアリーダー研修会(第I期・II期)共催で実施	5	1市2町合同ジュニアリーダー研修会共催で実施
6	子ども会リーダー S I N C交流研修会	中央公民館	S I N Cリーダーとしての指導力向上と仲間との交流を行う。	子ども会リーダー「SINC」	0		0	令和元年度まで行っていた定例会の開催など活動を再開予定
7	1市2町合同 ジュニアリーダー研修会	中央公民館	1市2町の小学5・6年生がリーダーとして必要な知識や技術の向上、さらには体験学習を実施することにより、友情の輪を広げ、地域子ども会の活性化を図る。	小学5・6年生	58	第I期 会場：剣淵町 士別市 3名参加 第II期 会場：和寒町 士別市 3名参加 第III期 会場：和寒町（中止）	58	2町(剣淵町、和寒町)の提案により、開催回数を夏期の1回とすることとしたため、別途市内児童、生徒向けの研修会を計画する
8	他町子ども会リーダー交流事業	中央公民館	他市町リーダー研修会に参加し、子ども達の交流の輪を広げ、子ども達の成長を図る。		74	参加できる市町村がほぼなかったため、中止	75	開催の有無を含め、他市町と連絡を取り合いながら、次年度開催に向け、検討する
9	子ども議会開催事業	中央公民館	市内中学生の「まちづくり」への興味・関心を育み、子どもの自由な発想を生かした意見・要望を市政に反映させる。	中学生	165	市内中学校から6名参加 学習会4回開催 子ども議会10月10日開催 議員報告会12月21日開催	167	中学生を対象とした「子ども議会」を「子ども議会～チャレンジ応援事業～」に変更。 中学生の日常生活や学校生活における身近な課題の解決策を市に発表する形式とし、子どもたちがそのアイデアを実践する中で、より達成感を高めながら自主性を育む学びとなるよう事業内容の充実に努める
10	こども夢トーク事業	中央公民館	子どもたちが市長・教育長と夢や未来への希望を語り、好奇心・探究心を高め、子どもたちの持つ豊かな可能性を広げる。	士別小学校 温根別小学校 上士別中学校	36	1/25 温根別小学校実施 1/29 上士別中学校実施 2/18 士別小学校実施予定	36	3校実施予定 ・士別南小学校 ・糸魚小学校 ・朝日中学校
11	チャレンジスクール補助事業	中央公民館	望ましい生活習慣・学習習慣定着のきっかけづくりを目的とした宿泊体験活動を実施する団体への補助を行う	小学4年生	420	10/1～10/3の期間、朝日山村研修施設で実施 11名参加	420	
12	ブックスタート事業	図書館	絵本の読み聞かせと親子のふれあい遊びを行い、説明を添えた冊子と絵本を0才及び3才児へ贈呈する。	乳児、3歳児、保護者	400	図書館でのよみきかせ参加後、絵本を贈呈。1月末時点0歳40名、3歳86名手渡し済。協力：絵本よみきかせしべつ鳩の会、子育て支援センターゆら	400	
13	各種よみきかせ会	図書館	絵本の読み聞かせにより、幼少期から本から得られる楽しさやあたたかさ、図書館への興味を持ってもらう。	乳幼児、保護者	-	毎月1回、ブックスタート対象者以外の幼児のよみきかせ会や、子ども読書週間、平和推進事業など各種イベントでのよみきかせ会 1月末時点延べ328名参加。	-	

社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	令和5年度		令和6年度 計画	
					予算 (千円)	実績	予算 (千円)	令和6年度の変更点
14	読書通帳	図書館	読書通帳一冊で本30冊を目標とし、読書活動を推進する。	乳幼児、児童生徒	-	30冊記録できる通帳を配布。すべて埋めた子は仮装してチエキで記念撮影。1月末時点21名。	-	
15	読書感想文コンクール	図書館	市内小学校・中学校・高等学校の児童生徒を対象に学校図書館協会と共催でコンクールを実施し、冊子を発行する。	児童生徒	148	応募総数400編 土別支部コンクール入賞者50名 全道コンクール入賞者 7名(北海道知事賞ほか) 学校賞 土別翔雲高等学校	162	
16	古本・古雑誌リサイクルフェア	図書館	除籍図書や市民から寄贈された書籍などを無料で提供し、図書館利用促進と読書活動促進を図る。	全市民	-	2,000冊の古本を市民へ提供した。	-	
17	移動図書館車活動	図書館	図書館から遠隔の地域、小中学校保育園等へ巡回し、読書活動の促進を図る。	全市民	-	市街地区24箇所、学校等11箇所巡回	-	
18	共催事業	図書館	文化団体等との共催により事業を行い、図書館利用促進と読書活動促進を図る。	全市民	-	平和推進事業 ①戦争関連図書の貸出 ②平和を願うおはなし会 加藤多一さん追悼朗読会(市民から朗読協力) よみきかせ講座(絵本よみきかせしべつ鳩の会)3月実施予定	-	平和を考える映画会の実施を検討する
(2) 青年層や高齢者の学びの推進(社会教育課・公民館・地域文化課)								
1	はたちを祝う会開催事業	社会教育課	20歳という人生の節目を迎える方を市全体で祝い励ますとともに、成人としての自覚をあらためて促す機会とする。	20歳の方	235	参加者：はたち118名、家族一般134名 アトラクションや来賓挨拶等割愛し式典時間短縮で開催。写真撮影会場を増やし参加者間の交流の場を提供。	237	
2	士別まちづくり塾事業	社会教育課	市内の概ね20歳代及び30歳代の男女が、まちづくりに向けての学習活動を行い、市の将来を担う人財の育成を行うことを目的に開催する。	18歳～30代の市民	309	自主企画まちづくり活動を実施予定	326	第8期の募集、事業開始時の講義などによる講師人数の増加
3	公民館講座(博物館連携講座) 「川の生きものさがし」	上士別公民館	博物館との連携講座 川に住む生きものに関する興味を喚起する	小中学生・保護者	0	河川の増水により中止、同日、町民センターにて『化石のレプリカづくり』を実施 12名参加	0	
4	高齢者学習推進事業 九十九大学 学び舎「つくも」	中央公民館	「集い・学び・交流」をとおして高齢者の生きがいづくりを推進するとともに、同世代の広い繋がりを構築することを目的として、基礎講座と自主企画活動を実施する。 なお、九十九大学は、本事業と統合して実施する。	60歳以上の市民	878	北海道学 8回 教養コース 8回 暮らしコース 8回 計 24回(1月末時点)	877	令和5年度末をもって、九十九大学は閉校し、学び舎「つくも」のみの運営
5	朝日公民館講座 あさひクラブ	地域文化課	・ヨガ教室 ・公共施設訪問 ・生活関係講座(悪質商法・環境問題)	あさひクラブ登録者 ※朝日地区在住の 満60歳以上の方	5		5	
6	高齢者健康講座	多寄公民館	健康に関する学習をする。	65歳以上の市民	-		-	
7	第30回町民ゲートボール大会	温根別公民館	高齢者の体力づくりと親睦を目的として開催(スポーツクラブと共催)	温根別町民(高齢者)	10	21名参加	10	

社 会 教 育 事 業 報 告 ・ 計 画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	令和5年度		令和6年度 計画	
					予算 (千円)	実績	予算 (千円)	令和6年度の変更点
(3) 幅広い世代の主体的な学習活動の促進 (社会教育課・公民館・図書館)								
1	中央公民館 公民館講座	中央公民館	現代社会に即応した各種講座を開催し、既存文化団体の育成や新たなサークルの結成を促進するとともに、市民活動や文化活動を通じて市民交流を図る。	全市民	370	親子で参加する公民館講座 (全5回) ①ドローン講座 2/18 ②親子料理教室 2/25 ③プリザーブドフラワー 3/3 ④似顔絵講座 3/10 ⑤健康ヨガ講座 3/17	372	
2	下士別分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	127	R5.12月末まで ・広報誌「つながり」4月～12月 9回発行 ・パークゴルフ講習会 6/4(19人)、7/8(22人) ・しめ縄作り講習会 12/24(15人)	127	
3	中士別分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	127	・民謡講習会 4月～8月 毎月2回 計10回 (延40人) " 9月 計3回(延12人) " 11月～12月 毎月2回 計4回(延16人) ・パークゴルフ講習会 6月1回(9人) " 7月 計2回(延16人) " 8月 計2回(延16人) " 9月 計1回(16人) " 10月 計1回(12人) (R5.12月末まで)	127	
4	武徳分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	127	R5.12月末まで ・広報「武徳」5月～12月 8回発行 ・料理講習会 11/28(13人)	127	
5	上士別公民館講座	上士別公民館	住民ニーズに基づく各種講座を実施し、さまざまな学習活動を通じて地域での交流を図る。 ・切り絵教室、そば打ち教室、クラフト工芸教室	町民	30	クラフト工芸教室を開催 (サブオーク型ミニテーブル作成) 19名参加	30	
6	多寄公民館講座	多寄公民館	住民ニーズに基づく各種講座を実施し、さまざまな学習活動を通じて地域での交流を図る。 手話講座を実施	町民	50	手話講座 3回実施	30	
7	温根別公民館講座	温根別公民館	住民ニーズに基づく各種講座を実施し、さまざまな学習活動を通じて地域での交流を図る。 カーリング体験教室を実施	町民	20	フラワーアレンジメント教室として実施し、10名参加	34	カーリング教室・料理教室実施予定
8	北温分館	温根別公民館	分館環境整備・料理教室・手芸教室・親子ふれあい祭など	一般	25		20	
9	朝日公民館講座	地域文化課	水泳教室(2日間) 書道教室 宣言タイムマラソン 新年書初め会(午前の部・午後の部) 基礎スキー教室(6日間)	町民	407		407	

社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	令和5年度		令和6年度 計画	
					予算 (千円)	実績	予算 (千円)	令和6年度の変更点
10	壬子分館事業	地域文化課	壬子地区運動会、パークゴルフ大会、手芸教室、料理教室、手芸教室、室内軽スポーツ	一般	40		40	
11	三栄分館事業	地域文化課	ゲートボール大会(年2回)、収穫感謝祭、料理教室、手芸教室(2回)	一般	40		40	
12	登和里分館事業	地域文化課	登和里地区運動会、フラワーアレンジメント、新年レクリエーション、手芸教室、パークゴルフ大会、料理教室	一般	40		40	
13	4地区館合同講座 「クラフト工芸教室」 (上士別地区)	上士別、多寄、 温根別、朝日 公民館	クラフト工芸を学ぶ。	全市民	20	木製フレームミラー作成 17名参加	20	
14	4地区館合同講座 「しめ飾りづくり講座」 (多寄地区)	上士別、多寄、 温根別、朝日 公民館	しめ飾りの手法を学ぶ。	全市民	10	クリスマスリースづくり講座 20名	20	
15	4地区館合同講座 「フラワーアレンジメント教室」 (温根別地区)	上士別、多寄、 温根別、朝日 公民館	フラワーアレンジメントを学ぶ。	全市民	20	10名参加	30	
16	4地区館合同講座 「ポッチャ教室」(朝日地区)	上士別、多寄、 温根別、朝日 公民館	ポッチャを学ぶ。	全市民	5	18名参加	5	
17	ものづくり教室(異世代交流)	温根別公民館	ものづくりの楽しさや異世代交流を目的として開催	小学校児童・一般	10	18名参加	13	
18	市民自主企画事業 (マイプラン・マイシティ)	中央公民館	市内の各種団体やサークルが、市民を対象に自主的に企画した学習事業費の一部を支援し、学習機会の拡大及び団体等の活性化を図る。	市民団体等	227	①主催団体：いきいき体操サークル 実施月日：4月6日(会員15人、一般3人) 4月13日(会員18人、一般3人) 支援内容：講師謝礼 20,000円 ②主催団体：士別9条の会 実施月日：8月6日(会員31人、一般18人) 支援内容：事務消耗品15,446円	228	
19	社会教育・生涯学習資料作成 「サークルメイト」 「生涯学習ガイド」 「まなび☆ガイド」	社会教育課	市内サークルや施設、提供可能な体験活動の一覧を作成し、学校や地域の学習、体験活動を促進する。	全市民	113	まなび☆ガイドを活用し、PTAレクなどで缶バッジづくりなど延べ約400人が体験	82	隔年発行していたサークルメイトの冊子発行をやめ、インターネットでの公開のみとする。
20	人材育成・文化振興事業 文化創作活動補助事業	社会教育課	各種文化団体に対する事業補助金の利用促進	市民	800	○士別スロヴァキア国立オペラ2023(オペラ) 補助金額：300,000円 総事業費：2,030,641円 ○入船亭扇太一人会(落語) 補助金額：88,000円 総事業費：194,387円	900	

社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	令和5年度		令和6年度 計画	
					予算 (千円)	実績	予算 (千円)	令和6年度の変更点
(4) 地域文化の継承（学校教育課・社会教育課・地域文化課）								
1	指定文化財保護及び史跡整備	社会教育課	指定文化財及び史跡の保守・管理		322	多寄遺跡説明看板更新 99,000円	878	屯田兵屋基礎、庇、ねずみ侵入防止対策修繕工事650,000円予算計上
2	日向想い出の森親交會	多寄公民館	日向森林公園句碑の管理（草刈り 6/12、6/20実施） 総会：多寄研修センター（書面総会7/30）	市民	-		-	
3	温根別子ども太鼓教室	温根別公民館	温根別太鼓の継承を目的として開催	温根別小学校児童	5	6名参加	5	
(5) 市民ボランティア活動の促進（図書館・博物館）								
1	主催講座の開催	博物館	各種博物館講座の実施（地質めぐり、古文書講座、サイエンスフェスティバルなど）	全市民	584	郷土の自然や歴史について、多岐にわたった講座を実施。 計19回、延べ638人参加（2月1日現在）	892	世界でも珍しい特色ある土別の地質や近年話題となっている特定外来生物に関するものなど、利用者ニーズや地域性・話題性のある講座を開催予定。
2	出前講座の開催	博物館	市内学校や、市民の依頼による特別講座などの開催	全市民		各種団体の依頼に応じ、学芸員が出向いて各種講演や体験プログラムを実施。 計26回、延べ808人参加（2月1日現在）		
3	文集・文芸誌発行	図書館	市内小学生・中学生の作品を募集し、文集しべつを毎年発行。市民及び土別市ゆかりの方の作品を募集し市民文芸を2年に1度発行。	児童生徒	429	文集しべつ 180部発行 市民文芸28号 200部発行予定（R6年3月）	234	市民文芸が2年に1度の発行（29号は令和7年度発行）
4	文集たよろ	多寄公民館	年1回の発行。次号40号	市民	-		-	
5	地域づくり講演会	多寄公民館	地区PTAと公民館との共催による講演会の開催	市民	30	11/29多寄町地域づくり講座開催 38人参加 「ファイヤー探検記」～人と費を巡る物語 北海道LPガスPTAと共催	30	
6	生涯学習フェスティバル	図書館	生涯学習の成果・発表の場を提供し、創作・創造活動への関心を高め、生涯学習活動の推進する。	全市民	72	創作作品展示（103作品） 芸能発表（開会式及び詩吟）7名発表、42名参加 カラオケ発表 22名発表、76名参加 お茶会 86名参加、陶芸体験 30名参加	73	開催時期を7月中旬から8月中旬で調整中
3. スポーツの振興								
(1) 市民皆スポーツの実現に向けた機会づくり（スポーツ推進課、学校教育課）								
1	第39回市民クロスカントリー大会	合宿の里・スポーツ推進課	クロスカントリーを通じて、健康づくりと生涯スポーツの推進を図る。	全市民	326	小学生1～3年（各男女）1.0km、小学生4～6年1.5km、中学生3.0km、高校生3.0km、一般3.0km 参加者 100名	290	—
2	総合型スポーツクラブ推進補助	合宿の里・スポーツ推進課	生涯スポーツ社会の実現を目指して、本市の重要施策として「総合型地域スポーツクラブ」を位置づけ運営委員会を主体として各種事業を展開し、市内4地区において地域の特性を生かした独自のスポーツクラブ推進を目指す。	会員市民	2,560	各地区で実施されたスポーツクラブ事業に会員や一般市民が参加し、スポーツに親しみ健康増進につながる取組ができた。	2,560	—

社 会 教 育 事 業 報 告 ・ 計 画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	令和5年度		令和6年度 計画	
					予算 (千円)	実績	予算 (千円)	令和6年度の変更点
3	第66回町民体育の集い	上士別公民館	町民の親睦交流を目的として開催（体協との共催）	町民・東高校	0	中止	0	
4	子ども水泳教室	上士別公民館	水泳技術の向上と、体力づくりを目的として開催（ｽｰﾂﾗｲﾌﾞとの共催）	小中学生	3	延26名参加	3	
5	町民ﾊﾞｰｸﾞｰﾙﾌ大会	上士別公民館	町民の親睦交流を目的として開催	町民	1	13名参加	1	
6	子どもスキー教室	上士別公民館	スキー技術の向上と、体力づくりを目的として開催（ｽｰﾂﾗｲﾌﾞとの共催）	小中学生	8	延25名参加	6	
7	町民冬季ｽｰﾂ大会	上士別公民館	町民の親睦交流を目的として開催	町民	0	4年ぶりの実施 ミニバレー大会 24名参加 室内ﾊﾞｰｸﾞｰﾙﾌ大会は中止	0	
8	町民フェスティバル	多寄公民館	多寄町スポーツ協会による開催	町民	30		30	
9	町民スキー教室	多寄公民館	多寄町スキー協会と共催。スキーへの体験・理解と共に親睦を図る。	町民	15	1/16・1/18・1/21の3日開催、参加者延べ28人	15	
10	温根別公民館長杯ﾊﾞｰｸﾞｰﾙﾌ大会	温根別公民館	町民の親睦交流を目的として開催（ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞと共催・神社祭典委員長杯と合同開催）	温根別町民	10	16名参加	5	
11	温根別町民卓球教室	温根別公民館	卓球技術の向上と親睦を目的として開催（ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞとの共催）	温根別町民	0	12名参加	0	
12	子どもスキー教室	温根別公民館	スキー技術の向上を目的として開催（ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ・子ども会と共催）	温根別（小中学生）	23	10名参加	5	
13	第58回朝日体育まつり	合宿の里・ｽﾎﾟｰﾂ推進課	士別市朝日地区市民のｽﾎﾟｰﾂ活動と、その生活化を促進するとともに他地域市民相互連帯感の高揚を図る 後援：士別市・士別市教育委員会	町民	390	実施日 令和5年6月18日 参加者 延べ200名	390	—
14	第44回町民駅伝大会	合宿の里・ｽﾎﾟｰﾂ推進課	町民のｽﾎﾟｰﾂ意欲高揚とその活性化を図り、合わせて相互連帯感を促進する 後援：士別市教育委員会 地域教育課	町民	90	実施日令和5年9月3日 ※あさひじゃんじゅびりに合わせて開催 参加チーム数 7チーム 参加者 30名	90	—
15	第61回町民冬季ｽﾎﾟｰﾂ大会	合宿の里・ｽﾎﾟｰﾂ推進課	朝日地区市民の冬期間の体力向上と相互連帯感の高揚を図る 後援：士別市・士別市教育委員会	町民	86		86	
(2) 各種スポーツイベントの開催（スポーツ推進課）								
1	2023ホクレン・ディスタンスチャレンジ士別大会	合宿の里・ｽﾎﾟｰﾂ推進課	日本陸上界における中・長距離を代表とするトップアスリート選手強化及び人材発掘・育成を目的に大会を開催。道内5会場で開催。	日本陸連登録選手	889	道内全5戦のうち第1戦目として士別大会を開催 全17レース エントリー 295名 来場者 250名	1,214	道内全5戦のうち第3戦目として士別大会を開催

社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	令和5年度		令和6年度 計画	
					予算 (千円)	実績	予算 (千円)	令和6年度の変更点
2	第36回サフォークランド士別 ハーフマラソン大会	合宿の里・ス ポーツ推進課	トップランナーから家族による参加まで道内外の多くの方々に親しまれる大会として開催。ハーフマラソン、10km、2.1km、ファンラン（2.1km）を実施する。		6,300	ハーフマラソンの部、10kmの部、5kmの部、2kmの部、ファンランの部、5名のゲスト等、8名の招待選手も参加 同会場ではサフォークフェスティバルも同時開催 エントリー 1,667名 運営者 526名	8,300	5kmの部を取り止め2kmに統合、参加者及び来場者の誘客、交通警備員の増員、救護体制の強化、事務局業務の分散
3	士別スポーツウィーク2023	合宿の里・ス ポーツ推進課	個々のライフスタイルに応じた体づくり・健康づくりをめざした『自主的』なスポーツ活動の推進のため、関係団体等と連携して、スポーツイベント・教室、体験会などを開催		942	羊のまち・しべつ 健康ウォーキング スポーツチャレンジ教室 オリバラフェスティバル その他、トレーニング指導、ポッチャ体験会、市民ゴルフ大会など	1,464	
4	第42回サマージャンプ朝日大会兼第 26回ジュニアサマージャンプ朝日大 会	合宿の里・ス ポーツ推進課	朝日スキーイベント実行委員会による開催。全日ジュニア&レディースサマージャンプ朝日大会と全日本サマージャンプ朝日大会を統合して開催。		2,700	サマージャンプ大会 スタート数:98名 ジュニアサマージャンプ スタート数:54名 競技役員:27日 56名、28日 61名	0	ジャンプ台改修工事のため、令和6年度は開催しない。
5	第31回サマーコンバインド 朝日大会	合宿の里・ス ポーツ推進課	朝日スキーイベント実行委員会による開催。	小学生～社会人	810	スタート数:80名 競技役員:53名	0	ジャンプ台改修工事のため、令和6年度は開催しない。
6	2022合宿の里士別ジュニア サマージャンプ交流大会	合宿の里・ス ポーツ推進課	朝日スキーイベント実行委員会による開催。	小・中学生	400	スタート数:34名競技役員:44名	0	ジャンプ台改修工事のため、令和6年度は開催しない。
7	第25回朝日ノルディックスキー大会	合宿の里・ス ポーツ推進課	朝日スキーイベント実行委員会による開催。	小学生～社会人	880	ジャンプ競技 スタート数:115名 コンバインド競技 スタート数:74名 クロスカントリー競技 スタート数:112名 競技役員:25日 55名、26日 65名	880	—
(3) 各種スポーツ教室やオリンピック教室等の実施（スポーツ推進課）								
再掲	オリンピック教室	合宿の里・ス ポーツ推進課	オリンピックムーブメント推進の一つとして、市内中学生に「オリンピズム」や「オリンピックバリュー」について学習する機会を提供し、学校生活や日常生活など、今後の成長に生かしてもらおう。	市内中学生	251	オリンピック3名を講師に実施 対象：士別中学校2年生、士別南中学校2年生	229	—
(4) トップアスリートと市民との接点づくり（スポーツ推進課）								
1	スポーツ合宿事業（各種）	合宿の里・ス ポーツ推進課	スポーツ合宿における環境整備などを進める。		10,916	上半期実績 272団体 15,216人（前年度 183団体 10,245人）	11,921	
(5) 合宿受入れ態勢の拡充（スポーツ推進課）								
再掲	オリンピック教室	合宿の里・ス ポーツ推進課	オリンピックムーブメント推進の一つとして、市内中学生に「オリンピズム」や「オリンピックバリュー」について学習する機会を提供し、学校生活や日常生活など、今後の成長に生かしてもらおう。	市内中学生	251	オリンピック3名を講師に実施 対象：士別中学校2年生、士別南中学校2年生	229	—

社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	令和5年度		令和6年度 計画	
					予算 (千円)	実績	予算 (千円)	令和6年度の変更点
4. 文化・芸術の振興								
(1) 市民の文化・芸術活動の促進（各公民館・生涯学習情報センター・地域文化課）								
1	市民総合文化祭 中央地区会場	中央公民館	市民が日常で取り組む文化活動の学習成果の発表と作品を鑑賞する機会を提供するために市民総合文化祭を開催し、市民の文化活動に対する意識を高め、地域文化の向上を図る。	市民団体等 小・中学生	330	・10/28～11/5 作品展示 28団体7個人563点(R4年度673点) ・11/5 芸能発表 22団体2個人 84人出演(R4年度79人) ・10/24 小中学校音楽発表会 ・10/28～11/5 児童生徒作品展示(共催:土別市教育研究会) 毛筆・硬筆など227点(R4年度233点) 【課題】参加団体の固定化・高齢化が課題。	281	
2	市民総合文化祭 上士別地区会場	上士別公民館	上士別地区のサークルや学校等の芸能活動発表および作品展示	町民	120	4年ぶりに芸能発表などコロナ前とほぼ同規模での開催ができた。 11/1に作品展示、お茶会、体験コーナー 11/3に芸能発表、バザー 2日間で延350名の参加	140	
3	市民総合文化祭 多寄地区会場	多寄公民館	作品展示会、芸能発表会、お茶会	市民	50	11/3作品展示・お茶会・芸能発表会 作品展示145点、入場者数182人(内お茶会50人)	50	
4	市民総合文化祭 温根別地区会場	温根別公民館	温根別小学校学芸会と同日開催	温根別町民	115	4年ぶりに芸能発表などコロナ前とほぼ同規模での開催ができた。90名参加	145	
5	市民総合文化祭 朝日地区会場	地域文化課	芸能発表・作品展示	町民	72	作品展示 作品数583点 芸能発表 延べ53名 来場者155名 お茶会 来場者98名	76	
6	個人作品発表事業	多寄公民館	個々に作成された作品を展示し、鑑賞の場の提供。	町民	-		-	
7	特別企画展の開催	博物館	「森脇啓好写真展」「流行病と土別」「日本版画協会巡回土別展」「季節の行事展」		1,059	①特別企画展「日本版画協会巡回土別展」 ②企画展「土別の外来生物の現在」③「タイムカプセル～博物館の古文書展」、④季節の行事展の実施 来場者数:2,021名 ※未集計分(①、④の一部)を除く。	568	特別企画展「道北地区博物館等連絡協議会巡回展 道北の鉄道」 企画展「雪水展」「昔の遊び展」、季節の行事展
8	その他の特別展示活動	博物館	「多摩美術大学現代版画小品展」「道北地区博物館等連絡協議会巡回展」「ミニ個展」			「多摩美術大学現代版画小品展」「ミニ個展～土別駅ヒストリー」の実施。※予定していた「道北地区博物館等連絡協議会巡回展」は令和6年度に実施予定。 来場者数:199人(ミニ個展)		「多摩美術大学現代版画小品展」「道北地区博物館等連絡協議会巡回展～シマエナガ展」「ミニ個展」
9	学校ブックフェスティバル	図書館	道立図書館の大量一括貸出しを活用し、子どもたちが多くの本に親しみ、読書の楽しさや読みたい本を選ぶ楽しみにふれることによる読書活動の普及を図る。	児童生徒	20	①温根別小学校 貸出冊数 141冊 ②糸魚小学校 (R6.2.28 実施予定)	-	土別小学校実施予定 道立図書館市町村支援事業に申請予定

社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	令和5年度		令和6年度 計画	
					予算 (千円)	実績	予算 (千円)	令和6年度の変更点
10	各種テーマ展示・特別展示	図書館	季節、時事に即した本の展示による図書館利用促進と読書活動促進を図る。	全市民	—	図書に関するテーマ展示 一般向け28回 児童・移動図書館車は随時 企画展示 ①加藤多一追悼展示(展示協力:滝上町図書館) ②子どもの権利に関する展示 (展示協力:旭川市立大学短期大学部)	—	図書に関するテーマ展示は継続実施。 生涯学習情報センター市民ギャラリーで、「松井エイコ壁画の世界展」と「まついのりこ絵本絵本原画展」を同時開催予定としていることから、関連図書の展示・貸出を併せて計画する。
11	各種教室	図書館	読書週間や季節にちなんだ体験会や工作教室を開催し、図書館利用促進と読書活動促進を図る。	全市民	124	夏休み手作り絵本教室開催(R5.7.29~30) 11名(他保護者6名)、講師3名(講師:絵本よみきかせしべつ鳩の会)	106	事業内容の見直しによる予算減
12	各種映画会	図書館	読書週間や季節にちなんだ映画会を開催し、図書館利用促進と読書活動促進を図る。	全市民	—	映画会 ①子どもの読書週間 3名 ②夏休み 3名 ③読書週間 30名 3月2日開催予定 アニメウィーク ①夏休み38名 ②読書週間49名 ③冬休み80名	—	
5. 教育・学習環境の整備								
(1) 地域とともにある学校づくりの推進(学校教育課・社会教育課・スポーツ推進課・東高校)								
1	地域学校協働活動の体制構築	社会教育課	学校を核とした地域づくりの推進のため、地域学校協働本部の体制を構築、コミュニティ・スクールと一体的な推進を図る。	全市民	5,683	CS通信発行 合同研修会を開催	6,135	公民館職員が担っている上士別、温根別、朝日などの地域コーディネーターを新たに地元住民から選定することによる謝金の増額
2	温根別小学校 魚釣り体験支援	温根別公民館	温根別町民を講師に迎え、温根別小学校児童を対象とした魚釣り体験をコーディネートする。	小学校児童		12名参加		
3	糸魚小学校、朝日中学校 総合学習支援事業	地域文化課	朝日の山野草を学ぶ 朝日の地層 市民の森自然散策 あさひの昔を語る会(3日間) わら細工 茶道教室(2日間) 昔の遊び R4年度よりCS事業へ移行	中学生 小学生	25	朝日の山野草を学ぶ 朝日の地層 あさひの昔を語る会(3日間) わら細工 茶道教室(2日間) 昔の遊び 講師:知恵の蔵運営委員会	25	
施設管理関係								
	朝日郷土資料室整備業務	地域文化課	郷土資料の維持管理		1,658		1,987	会計年度任用職員賃金の増、郷土資料室管理運営業務委託料の増
	瑞穂獅子舞伝習館管理業務	地域文化課	施設の維持管理		325		353	
	あさひサライズ ホール管理業務	地域文化課	指定管理		85,166		84,870	
	生涯学習情報センター施設整備	図書館	施設内各設備修繕		5,980	地階湧水対策工事(4,136千円) 可動式三面鏡購入(297千円) Wi-Fiルーター設置(114千円)	2,074	受変電設備機器更新工事 1,365千円

協議・研究活動「委員交流」資料

研究テーマ「市民参画を促進する社会教育行政の取組」

1. 前回（第2回）の交流テーマ「社会教育活動への関わりについて」

前回会議では、「社会教育活動への関わりについて」をテーマに、主体的に学習する市民（参加者・参画者・企画者）という視点で各委員の経験や知見などを交流をした。

2. グループ別の整理

<Aグループ>

- ・一緒に実行委員をやっていた人とは、今でも付き合いがある。よい思い出だ。楽しかった。
- ・いろいろな人とつながり、たくさんの思い出ができた。青年自主企画事業の実行委員をやったおかげだ。
- ・声をかけられるうちが華だと思い、やることにした。当時はすごい熱量を感じた。交流をとおしていろいろな人と知り合うことができた。
- ・おもしろいと感じたから、引きずり込まれた。気がついたら、引きずる側になっていた。
- ・「ハードルが高い」と思う人がいる。「私なんか」という人もいる。
- ・どっかで誰かがやろうといった「言い出しっぺ」がきっかけのひとつになる。「言い出しっぺ」が大事だ。
- ・ひとつの歯車が動く则ち他のところでも動きが出てくる。分野の違ふ経験を持つ人が乗っかって、すごいことができるようになる。
- ・各種団体の横のつながりが弱いと思う。あつたらいいのにと常々思っている。
- ・青年自主企画事業のスタートは自主的でなく、中央公民館が仕掛けを作つて、声掛けをして集まつたと記憶している。

<Bグループ>

- ・子どもたちの視野を広げることが目的。知らないことを知り、自分のなかで考えていく。
- ・中学生と一緒に企画した事業では、終わつても連絡を取つたり、いろいろと相談が来た。
- ・吐き出す場がなく、ストレスがたまっている。子どもたちは関わりのなかで自分が必要とされていることを実感していく。
- ・失敗してもいいから、やることが大事だということを伝えている。
- ・小さい頃から冗談を言われていなければ、初めて言われたときに周りが怖いと感じてしまう。
- ・子どもたちに教えて、自分たちも勉強になった。人にものを教えるのは自分の成長につながることを実感した。何でもやってみると楽しいものだ。
- ・いろいろなことに興味を持つことが大事。参加も参画も興味があるから。
- ・人と人とのつながりが大事だが、希薄になっている。オンラインで顔は知っているけどあつたことがない人がいる。足を運べるなら会いに行く。突っ込んだ話ができない。

<Cグループ>

- ・教育の成果は10年くらい経たないと見えない。マンネリと言われても続けていくことが大切だと思う。
- ・わんぱくでは、SINCのOB・OGがきて、継続したことの財産を感じた。楽しかった思い出があるから来たのだろう。その時の人と人とのつながりの強さを感じる。
- ・行政がやり過ぎると市民の主体性を奪ってしまう時がある。市民をお客さんにして、なんでも教育委員会がやろうとするからそうなる。市民を信じて、まかせる勇気が必要だ。
- ・旗振り役が社会教育委員だと言うが、どうしたらいいのかわからない。それを一緒に考えてくれる人をどうやって集めればいいのかを考えているが、思い浮かばない。
- ・当時は、同じ思いを持っていろんな人と議論した。その経験が今、とても大事だったと感じている。
- ・今、学習のきっかけづくりとして、世代間交流ができる枠組みや場所が必要なのではないか。
- ・小中学生は社会性を身に付ける。お互いの多様性を認めながら存在している。スポーツの世界でも、社会性の有無・多様性を認めながら協調性を身に付ける。そういう人はいろんな人と接し、いろんなことを見ている。

3. 前回の委員交流のまとめ

「主体的に学習する市民（参加者・参画者・企画者）」は、

○学習活動を通じた「市民の相互理解・信頼関係を深める」ことは、つながりづくりに寄与している

○「参画する」「企画する」ことは、そのまま主体的な学びにつながっている

ことが各グループの交流内容に共通しています。

4. 今回の委員交流について

次年度方針と参加者アンケートから

○交流の視点

- ・委員交流のまとめの「相互理解」「信頼関係」「つながりづくり」「主体的な学び」に触れながら、思うこと、期待することなど

(参考) 令和5年度各種事業アンケートの参加者の声

1. 対象事業

しべつチャレンジ寺子屋 夏・冬

士別ふるさと体験広場 職業体験コース、文化体験コース 年間ふりかえり

〃 自然歴史体験コース 各回ふりかえり

2. 抽出にあたって

- ・前回の交流まとめに関連して「相互理解」「信頼関係」「つながりづくり」「主体的な学習」に繋がる、関係する言葉を選定。
- ・今後の課題となりうる意見はまとめに関連させずに選定。

3. 参加者の声

○しべつチャレンジ寺子屋

「参加した感想 (参加児童回答)」

- ・他の学校や違う学年の子と交流できてよかった
- ・友だちがいっぱいできてよかったです
- ・みよし市の小学生と友達になれたし、また冬の寺子屋に参加したいです。
- ・高校生のお兄ちゃん、お姉ちゃんが優しく勉強を教えてくれたり一緒に遊べて楽しかったし、他の学校のみんなど遊べて楽しかった。

「チャレンジ寺子屋に申込をした理由 (保護者回答) (カッコ内は回答割合)」

【夏】

- ・子どもが参加を希望したから (65%)
- ・市内の様々な子どもと交流をしてほしかったから (35%)
- ・みよし市の子どもと交流してほしかったから (18%)
- ・(自由記述) 高校生が勉強を教えてくれる為。自分も高校生になったら小学生に勉強を教えてあげられるような子供になって欲しい。

【冬】

- ・子どもが参加を希望したから (68%)
- ・市内の様々な子どもと交流をしてほしかったから (13%)

事業実施にあたってのお気づきの点等 (保護者回答)

【夏】

- ・親の仕事の都合で送迎が難しく、興味を持った日も断念しました。集合場所が、総体や文化センターなら自転車で行けますが、翔雲高校だと、南地区からはかなり遠いと感じます。

【冬】

- ・お手伝いして下さった先生方や高校生が、とても優しく丁寧に教えてくれたと話していました。
- ・仕事していると送迎が大変です。参加したい小学生のために小学校前からバスが出るような体制を検討して頂きたいです。
- ・寺子屋があり親としてとてもありがたいです！でも大変だったのが送迎です。仕事をしていると9時半から12時にお迎えはしにくく、一緒に参加する保護者の方にお問い合わせしなくてはならなかった……。可能であればバスやもしくは参加時間を変更した頂けたらと思います。

○土別ふるさと体験広場

「一年間、職業体験コースに参加しての感想」(参加児童回答)

- ・この体験を通じて将来の夢がとても広がりました。
- ・西條に行って店長さんがとても優しくったのを覚えています。
- ・販売業体験でのお酒の担当で、品出しや陳列の作業が楽しかったし、教えてくれるお兄さんも優しくったので、心に残りました。
- ・これからの将来に役に立つ経験ができて良かったです。

「一年間、文化体験コースに参加しての感想」(参加児童回答)

- ・1年間と書いてありますが、油絵体験が毎年楽しかったです。年々成長していった気がします。油絵体験はずっと残って欲しいなと思いました。ありがとうございました。
- ・ずっと気になっていた吹奏楽や去年やった油絵体験がもう一度できて嬉しかったです。
- ・いつもなら体験できないようなことを文化体験コースで経験する事ができて楽しかったです。

「土別ふるさと体験広場 職業体験コースへのご意見や感想」(保護者回答)

- ・他校の児童との交流だけでなく、教育委員会の職員の方々とお会い出来るのも楽しみに参加してたようです。
- ・知らない子たちの中に入り、体験して楽しめるか心配でしたが、参加後は楽しかった！と笑顔で帰ってきていました。
- ・どの体験でも、終わったあとに目をキラキラさせて体験談を話してくれる息子の姿が印象的でした。普段の生活ではなかなかできない貴重な体験をさせてくださり、本当にありがたかったです。
- ・職業体験を通して、子供の夢も広がるので良い機会だと思います。また、他の学校や他の学年のお子さんと交流し、協力しながら頑張る力もつくので心の成長できる機会だと思います。
- ・普段の学校生活だけでは体験できないような場所ばかりですので、とてもありがたいコースです。知っている、知らない、経験がある、ない、ではその後の人生においても豊かさが違ってくると思いますので、今後も本人達が積極的に色々な事に挑戦できるような場があれば幸いです。
- ・自分たちの日常に身近な職業でも、知らないことが沢山あって、とても刺激になっていたようです。様々なことに興味を持つことで、将来の選択肢も広がり、とてもよい取り組みだと感じています。

「土別ふるさと体験広場 文化体験コースへのご意見や感想」(保護者回答)

- ・都合がつかず油絵の2回目しか参加出来ませんでしたでしたが可愛いシマエナガの絵を描いて、いぶきに飾ってもらえたのが本人も嬉しかったようです。
- ・全て楽しんでいたようですが、茶道は特に気に入ったようで、体験した後も教室に通いたいと言っていたため、今月から通い始めました。なんでもいいので、続けるということを読んで欲しいと思って、こちらのコースに申し込んでいたこともあったので、私にとっても収穫です。
- ・指導者の方も丁寧に教えてくださり、子供も安心して体験することができました。
- ・家庭でも、学んだことを教えてくれるので、会話がはずみ親も楽しかったです。油絵を飾ると、息子もとても嬉しそうにしており、頑張って作成したことが伺えました。
- ・いまの子どもはゲームすることが1日の大半で、運動や知識を得る場を持たない。社会にはこのような事があるんだと肌で感じて興味を持ってくれることで、将来を考える幅を持たせてやりたいと思います。羊毛体験では困りました。出勤を少し遅らせたり、昼休みに迎えに行ったりと、大変でした。不参加にすればいいのですが、それでは参加したい子どもがかわいそうです。会場が遠いときは文化センターからマイクロバスを出す配慮がほしいです。

士別の自然をもっと知りたいとおもった理由

【自然観察会】

- ・士別に住んでいるので、士別のことを知りたいから
- ・士別のまだ知らない生物や植物などを知りたいと思ったから
- ・季節で違うものが見れそうだから

【昆虫採集】

- ・またみんなで遊びたいから。
- ・なぜかという、少しめずらしい物や、初めて見たものがたくさんあったからです。
- ・午前中友達と「色々な種類がいるんだね」と話していたから

【雪と氷の実験】

- ・士別市の自然を知ったら、士別市のことを知れるから。
- ・雪などは、士別に慣れ深いし、今回の実験でもっと面白いことはないかと思ったからです。
- ・士別では雪がすごいので、これからも雪や他の自然も知りたいと思った。

士別の歴史をもっと知りたいと思った理由

【火起こし体験】

- ・昔の人がこんな風に火を起こしているんだと分かったから
- ・昔の人はゆでたり焼いたりするのにこんなに大変な苦勞をしていたのだと考えるとすごいと思った
(思わなかった理由)
- ・今日の体験は歴史に関係ないと思った

【勾玉づくり】

- ・歴史が好きでほかにも色々なことを知りたいと思ったから
- ・歴史とかそんなに知らないから、遺跡とかもっと調べてみたいと思った
- ・士別でも遺跡があるのを知ったので、化石もあつたら知りたい

(参加保護者回答)

- ・士別に遺跡があることにまずおどろきました。見に行きたいなと思います。まが玉作りは案外センスが必要だなと思った。